

○事業所名	島田市こども発達支援センター ふわり			
○保護者評価実施期間	令和6年8月16日 ～ 令和6年9月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	令和6年8月28日 ～ 令和6年9月3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・クラスの垣根を超え、全職員が全ての子どもと関わりをもっている ・子ども一人ひとりとより丁寧に関わることができる ・保育園と併設し、常時交流の機会がある	・クラス関係なく全職員で情報交換、共有を行い理解を深めている ・ヒヤリハットの報告をし、危険箇所や危険場面等について共有している	・子ども一人ひとりについて、外部のアドバイザーの力も借りて、理解をより深めたい
2	・職員研修が充実している。その中で、課題や問題に対し職員全体で共有し、意見交換ができる ・アドバイザーがいることで、職員間で共通理解し合える	・職員間で意見を出し合える場が定期的に設けられている ・子どもの姿を捉え、どう支援していくのがいいかをチームでしっかり考えている ・インシデントプロセス法を活用し、問題解決が実践されている	・保護者にも情報共有し、更に家庭との連携を図る ・インシデントプロセス法を行う頻度を増やしより質の高い保育を行えるようにする ・環境構成の工夫
3	・保護者会の開催や保護者参加行事が多く、また、保護者による送迎であるため、保護者同士のつながりがしやすい	・保護者参加行事では、親子だけでなく保護者同士が関わりを持てるよう配慮している ・先輩ママとの交流	・保護者同士が気軽に話せる場の提供 ・就園や就学等を考える時期に、懇談会や研修会を複数回開催

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育内容がマンネリ化しがち	・子どもそれぞれの興味に合わせて保育を行っているため	・子どもが「楽しそう」と思えるような遊びを職員からも誘っていく ・新しい遊びや体操を取り入れる ・他園の見学を行う
2	・施設設備の痛みが多い(網戸・扉など) ・砂場に屋根がない ・ガラスが多用された施設である	・扱いが激しいこともあり、修理が追いつかないことがある ・夏場は長時間戸外遊びをすると熱中症が心配	・修繕が必要な個所を見つけたら、すぐに対応する ・戸外で日陰になる場所の設置
3	・立地条件が悪い ・事業所の存在や役割を知らない人がいる	・公共交通機関がほとんどない ・市中心部から外れているため、事業所についての情報が広まらない	・SNS等利用し、事業所のことを市民に知らせていく ・他幼保こ園に保育のアドバイス等していきたい